

# しぜん がくしゅうかん だよ トキと自然の学習館 便り

がつ できごと  
～12月の出来事～

れいわ ねん がつ  
令和5年12月  
VOL.74



できごと  
出来事

## こうかい む つがい公開に向けて...

がつ にち  
12月25日、トキのケージ入替えを行いました。  
りんじきゅうかんまえ  
臨時休館前までは、5羽のオスを公開していましたが、  
さいかいご くみ わ こうかい  
再開後はつがい1組と、3羽のオスを公開することにしました。

つがいを入れるケージの止まり木には巣台を設置します。これは飼育員が  
うらやまからクズのつるを採取して編み上げたお手製です。ここに、つがい  
えだ くさ はこ い す かんせい  
枝や草を運び入れ、ふかふかのクッションのような巣を完成させます。  
すだい  
巣台はぐらつかないようにしっかりと固定し、もし卵やヒナが巣から落ちて  
しまっても怪我がないように、止まり木の下にクッションを敷き詰めました。

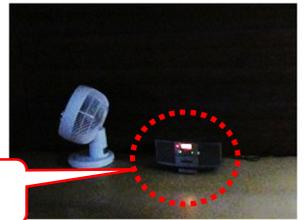


すだいせっち  
巣台設置  
かんりょう  
完了！

つがいにとって、来館者に見守られながら生活するのは初めてのこと。もともと  
おくびょう せんさい とり  
臆病で繊細な鳥なので、できるだけストレスを少なくして飼育したいところです。

かんらんどう こうかい なが まど とくしゅ  
観覧棟から公開ケージを眺める窓ガラスは特殊ガラスのため、トキ側から来館者は  
み えづらくなっています。また、かんらんどうない しょうめい さいしやうげん  
観覧棟内の照明は最小限にしていますが、白っぽい  
かげ ひかり み らいかんしゃ こえ き  
影や光はどうしても見えてしまい、来館者の声もトキに聞こえているようです。

じゅんび とどの  
準備を整えてつがいをケージに放したら、開館時と同じように観覧棟の明かりをつけ、  
らいかんしゃ はな へな  
来館者の話し声に慣れさせるためにラジオをつけておきます。また、しよくいん ていきてき  
職員が定期的に  
かんらんどうない ていり らいかんしゃ けはい  
観覧棟内に入り、来館者の気配になれさせる訓練を続けました。



くらやみ  
暗闇にラジオ...



さて、つがいの様子はというと、ほうちやうちよくご たが  
互いに距離をとったまま動きませんでしたが、3日後  
には2羽で巣台の上のり、交互に羽繕いをしたり擬交尾をしたりする様子が見られました。

しばらくは窓ガラス前に近づけないよう仕切りを設置します。少し離れた場所からの観覧になりますが、つがいの  
ストレス軽減のため、ご理解ご協力をお願いします。  
こんご みずあ まえ ちか  
今後、トキは水浴びをしながら日に日に外側の羽を黒く染めていきます。3月終わりから4月の初め頃には産卵し  
その後順調にいけば一か月弱でヒナの誕生です。ヒナは親鳥からエサをもらい大事に育てられ、40日もすると  
おやどり おな おお せいちやう すだ こそだ  
親鳥とほぼ同じ大きさまで成長し、まもなく巣立ちます。子育てをする親鳥の行動や、ヒナが成長していく過程など、鑑賞ポイントが面白押しです。見逃さないよう、ぜひ、何度でもお越しください！お待ちしております！